

日本全土が戦場化 敵基地攻撃の危険

敵基地
攻撃の危険

近畿24 自衛隊基地を「強靱化」

日本への報復攻撃を招き、国土が戦場に―。共産党の小池晃書記局長が参院予算委員会（2日）で明らかにした防衛省の内部文書は「敵基地攻撃」の危険を浮き彫りにしています。

文書は、全国283地区の自衛隊基地・防衛省施設の約2万3000棟を核・生物・化学兵器など、あらゆる脅威に耐えられるよう地下化や構造強化などの「強靱化」を進める計画を明記しています。

報復攻撃による大規模被害を想定し、そのもとでも自衛隊基地だけが生き残ることを狙っています。近畿6府県は



導入するスタンド・オフミサイル（長射程ミサイル）

24自衛隊基地が対象です。

小池質問が示したもう一つの危険。政府は長射程の「スタンド・オフ・ミサイル」の保管を目的にした大型弾薬庫を今後10年間で全国130棟建設する計画。「東洋一の弾薬庫」と言われた京都・精華町の祝園分屯地も対象。ウクライナを侵略したロシア軍は弾薬庫をまず攻撃しましたが、精華町はベッドタウンです。

「強靱化」の対象となっている近畿の自衛隊基地 ◆陸自 今津駐屯地 大津駐屯地 野原駐屯地 姫路駐屯地 和歌山駐屯地 福知山駐屯地 桂駐屯地 宇治駐屯地 大祝園分屯地 ◆海自 舞鶴地方総監部 久保駐屯地 八尾駐屯地 信太山駐屯地 隊 舞鶴航空基地 ◆空自 経ヶ岬分屯基地 川西駐屯地 伊丹駐屯地 千僧駐屯地 青串本分屯基地 饗庭野分屯基地 奈良基地

4/9 暮らしと平和がかかった選択

4月9日は地方政治をめぐる選択の日。暮らしと平和がかかっています。日本共産党は「大軍拡をすすめる岸田政権に“平和の審判”を」「国言いなりの冷たい府・県政を変えよう」と訴えています。



記者会見する志位和夫委員長=23日、国会内

志位委員長が訴え

共産党の志位和夫委員長は、次のように訴えています。

「子育て支援3つのゼロ」を
①多くの自治体では、共産党以外の全ての党が首長提案に何でも賛成という「オール与党」の状態です。共産党の地方議員は、住民の願いを議会に届ける唯一の懸け橋としてかけがえのない役割を發揮し、いま子どもの国保料・医療費・給食費を無料にする「子育て支援3つのゼロ」へ奮闘しています。

日本共産党

「平和の外交ビジョン」訴え

②岸田政権の進めている敵基地攻撃能力の保有と大軍拡を許していいのかが問われる、全国的政治戦です。共産党はその危険性を明らかにするとともに、憲法9条を生かして東アジアに平和をつくる「外交ビジョン」―平和の対案を語っています。「共産党を伸ばして平和の審判を」と訴え抜きます。

共産党躍進で 住民の声で動く新しい政治を

折り返し

しんぶん 赤旗

日刊 (毎日配達されます) 月3,497円

日曜版 (毎週配達されます) 月930円

お申し込みは お近くの党事務所か 党員までお願いします

近畿民報

2023年3月 No.5 (第543号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を發表しました。